

G-WEST

教育旅行受入協議会

私達の進む道、教育への貢献

田舎の子供になろう



問合せ先

会長 佐藤春夫

TEL/FAX: 0973-77-6356

携帯: 090-4777-5429

こんね、ここのえ HP

<http://www13.ocn.ne.jp/~sumikko/>



G-WEST とは、大山町、玖珠町、九重町のグリーンツーリズム研究会による、教育旅行に対する協力グループです。

基本的理念

- ◆ G-WEST の農村民泊体験とは、農作業を体験するだけでなく、農村すべてを体験しながら過ごす事です。
- ◆ 農村民泊体験をする子どもたちに対して、保護者・学校・旅行業者・受け入れ家庭は同等な立場です。
- ◆ トラブルに対して責任を共有し、子どもたちの将来のためを考えて、責任転嫁・責任逃れをせず、アバウトな心で協調して問題解決にあたらなければなりません。
- ◆ 原則として、保護者・学校側の考え方を体験現場（受け入れ家庭）に持ち込みません。
- ◆ 農村民泊体験は、もてなす・見繕うことなく、バスから降りて別れのバスに乗るまで、私たち（受け入れ家庭）の子ども・孫として、優しく・厳しく・楽しく生活の知恵と生きる力を教えます。
- ◆ 体験は、受入家庭と子どもたちとの間に信頼関係ができる（仲良くなる）時間であり、主たる事は生き様の語り部です。

《 詳細 》

- ・ 受け入れ農家の個性を尊重して、体験内容のマニュアル、決め事は一切ありません。天候や子どもの様子でその日のアドリブの組み立てになります。事前に内容の約束はできません。
- ・ 受け入れ人数は、各農家により異なります。
【理由】部屋の広さ・子どもに対応できる家族の人数・対応能力等
- ・ 各農家の受け入れ人数は、G-WEST から提示しますので、学校が振り分けてください。
- ・ 受け入れ時の先生の活動は、学校側の考え方におまかせします。巡回を希望する場合は、わかりやすい地図や、農家の連絡方法など、出来るだけの協力をします。
- ・ 事故の無いことを祈るのは誰も同じことですが、起こりうることを想定し、十分な保険に加入してください。（子どもの過失）
- ・ 受け入れ側の保険は、事故・食中毒は、一人に対して1億、一件に対して5億。平成21年5月まで。（受け入れ側の過失）
- ・ 事前はこちらから記入書類を送りますので、子どもたちの体調等（アレルギー・アトピー等）記入して提出してください。

大分県の規制緩和された農家民泊許可取得手続きに加え、G-WEST では、ツーリズムの会に入会して一年以上勉強・経験して、ツーリズムの会長と行政の推薦、論文の提出等々の厳しいハードルを越え、初めて取得の申請が出来ます。

《 体験例 》

野菜の種まき・手入れ・果実の袋かけ・収穫・田植え・稲刈り・牛飼い・ハイキング・散策・祭りの参加・盆栽作り・・・等（ほんの一部）です。

子どもたちが各農家の体験内容を比べて、損をしたとか得をしたとかいう考え方をしないように、学校側から事前に指導してもらえれば幸いです。



◆ G-WEST の受け入れ農家戸数： 54 戸 受け入れ可能人数： 350 名

◆ 料金 (2008 年)

宿泊:	6,000 円 (1 泊 2 食)
体験料:	500 円 (1 泊 2 食に対して)
昼食代:	500 円

◆ 入村式・お別れ式

場所： 玖珠町メルサンホール、玖珠B&G、九重町役場
時間： 入村式は13時、お別れ式は13時

※ 時間、場所は状況により変わることがあります。

- ・受け入れ農家への送り迎えは、地区ごとに子供たちを送ってきたバスで行います。
- ・バスには、受け入れ農家側から案内が付きます。

◆ 子供たちが用意するもの (必ず用意してください)

軍手・靴 (汚れてよいもの) 着替え、(但し作業中の半ズボンは×)
合羽 (安いもので良い)

※ 受け入れ農家ごとにカメラを用意することをお勧めします。

○ 気になること

絶対に怪我をさせられないと思うと、何も出来なくなります。

ありのままということは、少しの危険と冒険があります。そこが私達のじれんまでです。

○ 受け入れ農家の困ること

- ・ 家の中で騒ぐ
- ・ 部屋で取っ組み合いをする
- ・ ドアや戸を激しく閉める
- ・ 廊下を走る
- ・ 階段をかけ上がる
- ・ 風呂で騒いでびしょびしょにする
- ・ 夜遅くまで起きている
- ・ 汚れを落とさずに家に上がる



大分の民芸 12 選 『竹炭人形』(すみっこ倶楽部)

(制作)大分県玖珠郡九重町野上 3992-1

川野 ひろみ